



2023年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 AGC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL <https://www.agc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 平井 良典
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 小川 知香子 TEL 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け説明会）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,483,817	△1.0	95,534	△37.2	99,212	△40.0	72,295	△44.0	57,540	△41.7	203,024	△36.9
2022年12月期第3四半期	1,498,850	21.5	152,094	2.5	165,227	△10.7	129,117	△16.0	98,754	△23.7	321,984	38.1

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	264.97	264.33
2022年12月期第3四半期	445.56	444.28

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,987,645	1,675,688	1,464,775	49.0
2022年12月期	2,814,029	1,585,590	1,390,254	49.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	105.00	—	105.00	210.00
2023年12月期	—	105.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	105.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に 帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	0.7	150,000	△18.5	107,000	82.9	78,000	246.6	59,000	—	273.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）艾杰旭特種玻璃（大連）有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注)詳細は8ページ「1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	227,441,381株	2022年12月期	227,441,381株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	15,281,766株	2022年12月期	5,383,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	217,159,133株	2022年12月期3Q	221,640,317株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、補足説明資料（2023年12月期第3四半期業績説明会資料）を作成しており、T D n e tで本日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	2
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	3
(要約四半期連結純損益計算書)	3
(要約四半期連結包括利益計算書)	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	5
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な会計方針)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	9
(その他収益及びその他費用)	11
(重要な後発事象)	11

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	209,716	163,850
営業債権	315,808	350,461
棚卸資産	436,516	473,624
その他の債権	60,614	49,884
未収法人所得税	5,094	12,987
その他の流動資産	35,260	38,014
流動資産合計	1,063,009	1,088,824
非流動資産		
有形固定資産	1,350,769	1,453,135
のれん	92,768	102,196
無形資産	71,290	73,173
持分法で会計処理されている投資	24,609	27,113
その他の金融資産	94,075	94,720
繰延税金資産	40,778	42,133
その他の非流動資産	76,728	106,348
非流動資産合計	1,751,019	1,898,821
資産合計	2,814,029	2,987,645
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	214,332	207,202
短期有利子負債	69,750	173,802
1年内返済予定の長期有利子負債	122,254	124,594
その他の債務	211,855	226,812
未払法人所得税	27,283	13,426
引当金	1,310	2,491
その他の流動負債	23,211	24,986
流動負債合計	669,999	773,315
非流動負債		
長期有利子負債	458,237	434,638
繰延税金負債	28,851	34,164
退職給付に係る負債	45,578	49,209
引当金	17,783	12,370
その他の非流動負債	7,989	8,259
非流動負債合計	558,439	538,641
負債合計	1,228,439	1,311,957
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	97,094	97,085
利益剰余金	889,827	908,911
自己株式	△26,586	△76,038
その他の資本の構成要素	339,046	443,942
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,390,254	1,464,775
非支配持分	195,335	210,913
資本合計	1,585,590	1,675,688
負債及び資本合計	2,814,029	2,987,645

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結純損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,498,850	1,483,817
売上原価	△1,093,791	△1,128,518
売上総利益	405,059	355,298
販売費及び一般管理費	△254,893	△261,334
持分法による投資損益	1,928	1,570
営業利益	152,094	95,534
その他収益	25,560	20,229
その他費用	△13,928	△14,800
事業利益	163,726	100,964
金融収益	7,329	13,087
金融費用	△5,828	△14,839
金融収益・費用合計	1,501	△1,752
税引前四半期利益	165,227	99,212
法人所得税費用	△36,110	△26,916
四半期純利益	129,117	72,295
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	98,754	57,540
非支配持分に帰属する四半期純利益	30,362	14,754
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益 (円)	445.56	264.97
希薄化後1株当たり四半期純利益 (円)	444.28	264.33

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	129,117	72,295
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△10,771	17,092
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の 純変動	3,072	10,807
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	11	△9
純損益に振り替えられることのない項目合計	△7,687	27,890
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	7,795	△3,468
在外営業活動体の換算差額	192,758	106,307
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	200,553	102,838
その他の包括利益(税引後)合計	192,866	130,729
四半期包括利益合計	321,984	203,024
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	262,181	170,179
非支配持分に帰属する四半期包括利益	59,802	32,844

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	81,621	927,830	△26,933	△6,927	43,896
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	98,754	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△11,049	3,089
四半期包括利益合計	—	—	98,754	—	△11,049	3,089
所有者との取引額等						
配当	—	—	△52,162	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△338	—	—
自己株式の処分	—	—	△181	574	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	7,702	—	—	96	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	13,644	—	—	△13,644
株式報酬取引	—	△34	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△1,730	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	5,937	△38,699	235	96	△13,644
期末残高	90,873	87,559	987,885	△26,697	△17,879	33,342

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	4,952	198,847	240,769	1,314,161	167,219	1,481,380
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	98,754	30,362	129,117
その他の包括利益	7,373	164,012	163,426	163,426	29,439	192,866
四半期包括利益合計	7,373	164,012	163,426	262,181	59,802	321,984
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△52,162	△12,758	△64,921
自己株式の取得	—	—	—	△338	—	△338
自己株式の処分	—	—	—	393	—	393
支配継続子会社に対する持分変動	—	△3,161	△3,064	4,637	△1,336	3,300
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△13,644	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△34	—	△34
その他企業結合等	—	—	—	△1,730	—	△1,730
所有者との取引額等合計	—	△3,161	△16,709	△49,235	△14,094	△63,330
期末残高	12,326	359,697	387,487	1,527,107	212,926	1,740,034

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	97,094	889,827	△26,586	9,405	27,294
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	57,540	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	17,448	10,788
四半期包括利益合計	—	—	57,540	—	17,448	10,788
所有者との取引額等						
配当	—	—	△45,982	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△50,015	—	—
自己株式の処分	—	—	△216	563	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△108	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	7,743	—	—	△7,743
株式報酬取引	—	109	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△9	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△8	△38,456	△49,451	—	△7,743
期末残高	90,873	97,085	908,911	△76,038	26,854	30,339

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	2,321	300,024	339,046	1,390,254	195,335	1,585,590
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	57,540	14,754	72,295
その他の包括利益	△3,396	87,799	112,639	112,639	18,090	130,729
四半期包括利益合計	△3,396	87,799	112,639	170,179	32,844	203,024
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△45,982	△16,083	△62,066
自己株式の取得	—	—	—	△50,015	—	△50,015
自己株式の処分	—	—	—	346	—	346
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△108	△1,183	△1,291
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△7,743	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	109	—	109
その他企業結合等	—	—	—	△9	—	△9
所有者との取引額等合計	—	—	△7,743	△95,659	△17,266	△112,926
期末残高	△1,075	387,823	443,942	1,464,775	210,913	1,675,688

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	165,227	99,212
減価償却費及び償却費	137,530	130,943
減損損失	521	565
受取利息及び受取配当金	△5,132	△10,875
支払利息	5,678	13,807
持分法による投資損益	△1,928	△1,570
固定資産除売却損益	△11,712	2,096
営業債権の増減額	△4,899	△15,900
棚卸資産の増減額	△84,653	△14,312
営業債務の増減額	4,357	△21,897
その他	23,458	22,889
小計	228,448	204,957
利息及び配当金の受取額	5,726	10,677
利息の支払額	△5,474	△13,607
法人所得税の支払額又は還付額	△70,655	△55,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,044	146,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△151,992	△154,823
有形固定資産の売却による収入	17,275	2,142
その他の金融資産の取得による支出	△14,152	△932
その他の金融資産の売却及び償還による収入	55,252	24,450
関係会社又はその他の事業の売却による収入	15,548	1,786
その他	△1,070	△1,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,138	△129,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	16,564	98,032
長期有利子負債の借入及び発行による収入	67,136	49,314
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△61,296	△105,229
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△5,136
非支配持分からの払込みによる収入	3,302	384
自己株式の取得による支出	△338	△50,014
配当金の支払額	△52,162	△45,982
非支配持分への配当金の支払額	△12,922	△16,890
その他	199	175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,518	△75,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,857	12,626
現金及び現金同等物の増減額	68,245	△45,865
現金及び現金同等物の期首残高	195,830	209,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	264,076	163,850

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。以下の基準書の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

基準書	基準名	概要
IAS第1号 (2021年2月改訂)	財務諸表の表示	会計方針の開示
IAS第8号 (2021年2月改訂)	会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	会計上の見積りの定義
IAS第12号 (2021年5月改訂)	法人所得税	単一の取引から生じる資産及び負債に関連する繰延税金

当連結会計年度より、2023年5月23日に公表された「国際的な税制改革－第2の柱モデルルール（IAS第12号の改訂）」を適用しております。本改訂は、経済協力開発機構（OECD）が公表した第2の柱モデルルールに関する税制から生じる税金（以下、第2の柱の法人所得税）に係る繰延税金の認識及び開示を一時的に免除する例外規定を定めたものです。当社グループは、当該例外規定を当連結会計年度から遡及適用し、第2の柱の法人所得税に係る繰延税金について認識及び開示を行っておりません。

(重要な会計方針)

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いた全ての収益・費用が含まれております。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表の作成において、資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を設定しております。そのため、会計上の見積りと実績は異なることがあります。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積り及び仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

見積り及びその仮定は継続して見直しております。これらの見積り及び仮定の見直しによる影響は、その見積り及び仮定を見直した会計期間及びそれ以降の会計期間において認識しております。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、製品・サービス別に、「建築ガラス 欧米」「建築ガラス アジア」「オートモーティブ」「電子」「化学品」「ライフサイエンス」の6カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

前連結会計年度までは、「建築ガラス 欧米」「建築ガラス アジア」「オートモーティブ」「電子」「化学品」の5カンパニーを置いておりました。このうち、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」カンパニーは、サプライチェーンの最上流に位置し最大の資産であるフロート板ガラス製造設備（ガラス溶解窯）等を共同で活用していることから、カンパニー共用の資産・負債が併存し、共用の状況は生産や販売の需給変動で左右されます。これらの状況を考慮し、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」カンパニーを「ガラス」セグメントとし、財務諸表を作成しておりました。また、経営資源の配分の決定がそれぞれの業績に密接に影響を与え、業績評価についても不可分の関係にあったことから、全体最適生産、シナジー効果の維持等を目的に、各カンパニープレジデント等参加の下で「ガラスセグメント会議」等を設置していました。これらの状況を踏まえ、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」カンパニーを「ガラス」セグメントとして報告しておりました。

しかしながら、建築用ガラス事業は中流・下流の高付加価値製品・ビジネスヘシフトしていき、自動車用ガラス事業はモビリティ分野への展開が戦略の柱となるため、両事業におけるフロート戦略の相対的比重が低下しております。また、「ガラスセグメント会議」は前連結会計年度で終了しました。

一方、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」カンパニーについては、フロート及び建築加工に係る技術開発や生産に関する情報の共有、気候変動問題に対するGHG削減や製品貢献等の社会的価値創出及び長期的な収益指標等への共通の取り組みを、建築用ガラス事業一体となって進めていること、また、製品及び販売市場の類似性等から、経済的特徴を共有していると判断しております。

上記の結果、事業展開上で考慮すべき共通項目が減少し、建築用ガラス事業、自動車用ガラス事業の両事業の戦略の独自性及び意思決定の迅速性を重視した事業運営へのシフトを鑑み、当連結会計年度より、「建築ガラス 欧米」及び「建築ガラス アジア」の2つのカンパニーを集約して「建築ガラス」セグメントとし、また「オートモーティブ」カンパニーを「オートモーティブ」セグメントとして、報告セグメントを見直しております。

この他、2023年1月1日付で「化学品」カンパニーを「化学品」及び「ライフサイエンス」カンパニーに分割したため、この組織変更に伴い、当連結会計年度より、「化学品」セグメントを「化学品」及び「ライフサイエンス」セグメントとして、報告セグメントを見直しております。

以上より、当社グループは、「建築ガラス」「オートモーティブ」「電子」「化学品」「ライフサイエンス」の5つを報告セグメントとしております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
建築ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）等
オートモーティブ	自動車用ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラス等
電子	液晶用ガラス基板、有機EL用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、プリント基板材料、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル、塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、ヨウ素製品等
ライフサイエンス	合成医農薬中間体・原体、バイオ医薬品等

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	建築ガラス	オートモーティブ	電子	化学品	ライフサイエンス				
外部顧客への売上高	349,685	300,244	224,129	493,707	103,937	27,146	1,498,850	—	1,498,850
セグメント間の売上高	633	132	1,657	4,049	2,693	37,691	46,858	△46,858	—
計	350,318	300,377	225,787	497,756	106,631	64,837	1,545,708	△46,858	1,498,850
セグメント利益又は損失 (営業利益)	29,088	△15,396	12,292	107,397	15,490	3,400	152,273	△178	152,094
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	129,117

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	建築ガラス	オートモーティブ	電子	化学品	ライフサイエンス				
外部顧客への売上高	353,779	365,919	224,579	422,184	90,214	27,139	1,483,817	—	1,483,817
セグメント間の売上高	964	283	834	3,336	1,570	33,009	39,999	△39,999	—
計	354,744	366,203	225,413	425,521	91,784	60,148	1,523,816	△39,999	1,483,817
セグメント利益又は損失 (営業利益)	26,896	16,158	9,847	47,889	△7,729	2,605	95,667	△133	95,534
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	72,295

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
為替差益	—	13,431
固定資産売却益	14,728	452
関係会社株式売却益	8,556	3,333
その他	2,276	3,013
その他収益合計	25,560	20,229

前第3四半期連結累計期間の固定資産売却益には、当社が兵庫県尼崎市に所有する土地の売却益14,263百万円が含まれております。

その他費用

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
為替差損	△1,262	—
固定資産除却損	△3,016	△2,549
減損損失	△521	△565
事業構造改善費用	△7,167	△9,096
その他	△1,960	△2,589
その他費用合計	△13,928	△14,800

事業構造改善費用に含まれている減損損失は、前第3四半期連結累計期間は908百万円、当第3四半期連結累計期間は6,780百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間の事業構造改善費用には、関西工場高砂事業所における液晶用ガラス基板製品生産終了に伴い発生した費用が7,689百万円含まれます。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2023年10月12日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2023年10月31日に消却いたしました。

- | | |
|--------------|--|
| ①消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ②消却した株式の総数 | 10,006,700株
(消却前の発行済株式総数に対する割合：4.40%) |
| ③消却実施日 | 2023年10月31日 |
| ④消却後の発行済株式総数 | 217,434,681株 |